

「あまみエフエム ディ！ウェイヴ」放送原稿〈11月1日（金）放送分〉

テーマ：「奄美図書館11月行事のお知らせ」

あまみエフエム ディ！ウェイヴをお聞きの皆様，おはようございます。鹿児島県立奄美図書館です。

度重なる台風の襲来により，与論や沖永良部では甚大な被害を受けました。被災された方々には心からお見舞い申し上げます。一日も早い復興を心からお祈りいたします。

さて，鹿児島県教育委員会では，県民一人一人が鹿児島の教育について考える^{きょうん}気運を高め，本県教育の充実と発展を図るため，毎年，11月1日から11月7日までを，地域が^{はぐく}育む「かごしまの教育」県民週間としています。この週を含む前後の週間において，学校や教育に関係する機関では，保護者や地域住民への学校等の開放など，様々な取組が実施されています。

奄美図書館でも，秋の読書シーズンを迎え，多くの県民の方々が図書館にお越しいただけるよう，「読書週間」とも連動した催しを開催又は計画しています。

その一つが「書庫見学会」です。図書館にはたくさんの本が並べられていますが，本棚に並べきれない本や奄美の貴重な郷土資料，新聞などは書庫に大事に保管されています。そこで，普段は入ることのできない書庫を職員がご案内し，じっくりと見ていただき，図書館について一層の理解を深めていただくことを目的として「書庫見学会」を実施します。

期日は，11月4日の月曜日に，午前10時からと，午後2時からの2回実施します。この機会にぜひご見学ください。

もう一つは，第10回「ネリヤカナヤ創作童話コンクール」に寄せられた，奄美の子どもたちの創作童話の展示です。今回は大島地区内の小学生，中学生，高校生から278点の応募がありました。その中から最優秀賞8点，優秀賞19点，学校賞4校などが決定しました。また今回，「第10回記念大賞」も1点決定しています。

ただ今，過去に応募された作品を含め，全ての作品を奄美図書館の玄関エントランスや児童閲覧室にて，12月8日まで展示しています。奄美の豊かな風土や自然に^{いだ}抱かれた子どもたちの発想豊かな創作童話を，ぜひ一度手にとって読んでみてください。

そして、郷土コーナーにおきましては、「奄美群島日本復帰60周年記念、^{えばら よしもり} 惠原義盛 没25年記念スケッチ画展」を開催中です。

奄美の民俗研究家で、ケンムン博士として知られる惠原義盛氏が生前に描き残した奄美・沖縄のスケッチ画を展示しています。色鉛筆で描かれた、戦前の沖縄や米軍政府下の奄美群島、そして、日本復帰後の奄美の風景を知ることができます。来年の1月30日、木曜日までの展示となります。貴重な資料となりますので、この機会に是非ご覧ください。

最後に、放送大学鹿児島学習センターとの共催行事である奄美公開講座についてです。^{きようさいぎようじ}

11月10日、日曜日、午後1時20分から午後2時45分まで、「障害理解と支援の心理学」と題して、^{くもい みよし} 雲井未 鹿児島大学教育学部准教授に講演していただきます。

現代的な障害観を踏まえながら、障害による困難や支援の考え方についての心理学的なアプローチを紹介していただきます。

また、午後3時から、「これまでの奄美、これからの奄美」と題して、^{みやさこ としみつ} 宮廻甫 允 鹿児島大学名誉教授・放送大学鹿児島学習センター客員教授に講演していただきます。

奄美の主体的な振興開発のために、また、世界自然遺産登録を目指す奄美群島のために、地元の発意、創意工夫発揮の重要性について講義していただきます。

11月17日、日曜日には、午後1時20分から午後2時45分まで、「ワクチンで防げる病気～予防接種の利益とリスクを考える～」と題して、^{にし じゅんいちろう} 西 順一郎 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科教授の講演があります。

予防接種の利益・有効性とリスク・副反応をワクチンごとに正しく比較して、接種の必要性について講義していただきます。

場所はいずれも4階研修室です。放送大学学生以外の方も無料で聴講でき、事前のお申し込みの必要もありませんので、興味のある方はお気軽にご参加ください。^{ちようこう}

お知らせしました全てのお申込み、お問い合わせは、奄美図書館までお願いします。

電話番号は、52-0244（繰り返し言う）、FAX番号は52-9634（繰り返し言う）です。

鹿児島県立奄美図書館でした。来週もまたこの時間にお会いしましょう。